

004 健康経営 取り組み事例

企業
プロフィール



キリンホールディングス 株式会社

業種 4 食料品

従業員数 30,538名(2022年度末)

01 目的

お客様へ健康をお届けする企業として「健康」の社会課題を解決しながら社会と共に持続的に成長し、社会的価値と経済的価値を両立するCSV経営の実現を目指している。健康経営では、従業員一人ひとりが日々活き活きと健康な状態で働くことで、常に高いパフォーマンスを発揮でき、働きがいを高めている状態を目指している。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

課題	④ 企業の社会的責任
健康経営で解決したい経営上の課題	酒類の製造・販売を生業とする企業グループとして、従業員一人ひとりが適正飲酒を実践し健康を維持増進する事、周囲への適正飲酒啓発につながる事が重要だと考えている。
健康経営の実施により期待する効果	従業員の飲酒習慣を確認するAUDIT(飲酒習慣スクリーニングテスト)を毎年実施し、問題飲酒はない従業員(8点未満)の割合の増加を指標としている。従業員自身の適正飲酒の継続と、周囲への啓発効果を期待している。

自社従業員(組織)の課題と目標

重点課題1 ⑮ 従業員の健康問題に起因する生産性低下防止や事故発生予防に関する課題

課題内容	酒類の製造・販売を生業とする企業グループとして、従業員の適正飲酒を推進し、飲酒習慣を確認するAUDIT(飲酒習慣スクリーニングテスト)を毎年実施している。コロナ禍で改善したが、収束に伴う飲酒機会増加後、悪化傾向にある。継続した取り組みが必要だと考えている。		
目標	飲酒習慣スクリーニングテスト(AUDIT)8点未満割合 ※2021年までは10点未満割合で目標設定(点数が高いほど飲酒量は多い)		
	数値	単位	年度
	取組前実績値	84.6	割合(%) 2021年度(10点未満)
	現在の実績値	72.5	割合(%) 2022年度(8点未満)
	目標値	73%以上	割合(%) 2024年度(8点未満)

重点課題2 ⑩ 生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容	従業員の健康リテラシー向上により、健康行動を実践し継続する従業員を増やすことが継続的な課題。健康サーベイを実施し、従業員の健康リテラシー・健康関心度と健康行動の関連性を確認。今後、従業員の健康行動を促す取り組みに反映していく。		
目標	プレゼンティーズム		
	数値	単位	年度
	取組前実績値	61.46	2021年度
	現在の実績値	62.55	2022年度
	目標値	2022年より改善	2024年度

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

健康経営を推進し、昨年より人的資本経営も含めて取り組みをHP等開示することで、社外からの高い評価を獲得し、企業価値向上につながっている。2023年「日経SDGs経営調査」における「SDGs経営」総合ランキングにおいて、最高位である「★★★★」(偏差値70以上)に2019年の第1回より5年連続でランクインした。

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

飲酒習慣スクリーニングテストとプレゼンティーズム測定をストレスチェックと同時に実施。事業場単位で結果をフィードバックし、課題に応じて対応

具体的な実践内容1

分類	外部サービス
名称	Wellness Eye
提供元社名	SBアットワーク(株)
内容	ストレスチェック実施・集計・分析・フィードバック委託。2022年よりプレゼンティーズム・AUDITの測定を追加して依頼。
導入時期	2017年
選択理由	●価格 ●効果 ●機能・性能 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレスチェックでは調査実施後、組織分析のフィードバックシートの提出に加え、各事業会社のニーズに対応し、コンサルタントによる個別の報告会を実施。組織ごとの課題把握と対応に繋がっている。(いきいき度 2019年112→2023年115に改善) ●プレゼンティーズムとストレスチェック、飲酒習慣スクリーニングテスト(AUDIT)の同時実施は、従業員負荷軽減にもつながっている。

データ活用事例

事例名	健康管理システムの導入
内容	グループ本社のみで利用していた健康管理システムの範囲拡大により、従業員の健診結果の一元管理に取り組んでいる。2023年は主要会社の各事業場に範囲を拡大。今後更なる対象拡大を予定している。
利用データ	健康診断結果、問診結果、2次健診等

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	様々な観点から各種調査を実施しているが、委託先が複数でそれぞれ専門性が高いため、トータルで結果の有効活用ができていない。複数の調査結果をどう分析・活用し、従業員施策に活かしていけるかが課題。
今後取り組みたい施策の課題	プレゼンティーズム改善に向け、メンタルヘルス対応と、生活習慣の中でも睡眠改善に取り組んでいきたい。効果的な施策やプログラムを検討中。

施策内容(重点課題2)

従業員の健康リテラシー向上により、健康行動を実践し継続する従業員を増やすため、従業員の健康リテラシー・健康関心度と健康行動の関連性を調査

具体的な実践内容1

分類	自社サービス / 外部サービス
名称	KIRIN naturals
提供元社名	キリンビバレッジ株式会社
内容	KIRIN naturalsの健康経営支援サービスを導入。健康調査の実施と結果分析、各種健康プログラムの実施を委託。従業員には動画やコラム等健康情報も提供。
導入時期	2022年
選択理由	●価格 ●機能・性能 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●2022年より従業員向けの健康関連調査や、健康プログラム(適正飲酒プログラム)の実施を委託。自社の状況に応じてカスタマイズした内容で、オペレーション含めて委託しており業務効率化につながっている。(従業員調査の実施率 76.7%と高い水準) ●2023年に調査内容の見直しを実施。結果の活用は2024年以降の予定。